

誰もが自分らしく生きられる福島県に

《暮らし》福島県の新時代をともに 最優先

若者、子育て応援の福島県 保育料・学校給食費 **完全無償化** ・学費無償化 ・奨学金返済支援

物価高からくらしを守る福島県 中小企業の **賃金アップ支援** ・県独自の物価高対策 ・ケア労働者の処遇改善

ずっと安心の福島県 シルバーパス・地域交通の充実 **公共交通を守る** ・補聴器購入補助 ・医療・介護の充実

平和を守ろう 原発なくそう

持続可能な農業を **県独自の農家直接支援制度の創設**

高市政権の暴走にストップ **9条いかし平和外交を**

国の原発回帰にストップ!メガ発電ではなく **地域が主役の再エネ推進**

防災・減災予算の拡充、学校体育館のエアコン設置早急に **県民の命守る災害対策強化**

適切なルールとリスク管理のもとで開発・活用を **AIの暴走を止める国際協定を**

財源はあります
一人あたりの財政規模
福島県 69.2万円
全国平均 45.3万円
イノベーション・コスト構想
6200億円
(のべ関連事業費)

だけど現状は…
物価高騰対策
福島県 6.3億円 6月補正予算
岩手県 47億円
医療は全国最低クラス
医師数 42位
(10万人当たり)

原発被災の経験から

福島第一原発の事故を終わったことにして原発回帰を進める高市政権にモノ言える県政を。

小山田ともこは、原発事故でふるさとを奪われた当事者として、「県民が主役」の復興と原発ゼロを進めます。

県政初の女性知事で ジェンダー平等前に進める

若者、女性の県外流出が止まらず、人口流出全国ワースト2位の福島県。

小山田ともこは男女の賃金格差の是正に取り組み、政策決定に関与できる女性管理職を増やします。多様性の尊重、ハラスメント対策として人権教育で、幼少期からの包括的な性教育を推進します。

小山田ともこなら、県政史上最年少、初の女性知事となります。

国いいなりの冷たい県政から転換を

国の原発回帰や暮らし置き去りの大軍拡に何も言えない今の県政でいいのでしょうか？
私は双葉郡楢葉町出身です。高校2年生のときに原発事故で家族全員バラバラでの避難を経験しました。だからこそ県民の苦しみに寄り添うことができます。「物価高で生活が大変」、「学費のためにバイト漬け」、切実な声をたくさん聞いてきました。一緒に、県民のいのち・暮らし最優先の県政に変えましょう。

プロフィール●1993年6月19日生まれ。双葉郡楢葉町出身、磐城高校、信州大学卒。民青同盟福島県委員長を歴任。2012年3月、日本共産党に入党。2025年参院選比例候補。現在、県常任委員、県青年・学生部長。趣味・特技は登山、ピアノ、料理。須賀川市在住。夫と2人暮らし。



おやまだ
小山田 33 歳
日本共産党
ともこ

注意

一、氏名欄に記載し、又は記録する候補者の氏名は、当該選挙の選挙長の認定した通称があるときは、その通称を記載し、又は記録すること。
二、※印の欄については、候補者は記載しない、又は記録しないこと。

候補者氏名	
連絡の場所及び電話番号	